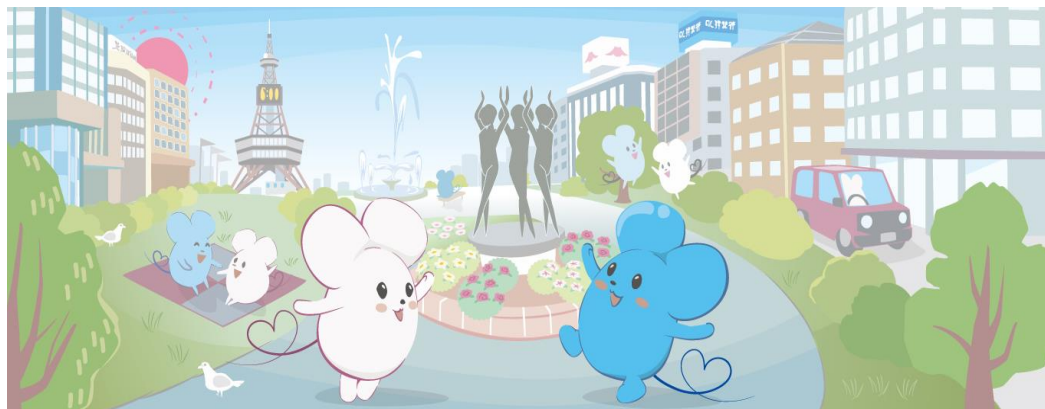




NPO法人 **ITでマザル、ハタラク、拓き合う。**

札幌チャレンジド

HSK 札チャレ通信



目次

- 02.....2023年度決算・事業報告
- 04.....放課後等デイサービス 紹介
- 05.....札幌市障がい者DXリスキリング講座のご案内
- 06.....パソコン&タブレット講習会のご案内
- 08.....就労グループ ビジネスチャットマナー
- 10.....移行グループ 在宅訓練プログラムの紹介
- 11.....移行グループ メンバーさんにインタビュー！
- 12.....会費・寄付の納め方

昭和 48 年 1 月 13 日第三種郵便物承認 HSK 通巻 628 号 Vol.259

発行日:2024 年 7 月 10 日発行(毎月 10 日発行)

編集人:〒060-0807 札幌市北区北 7 条西 6 丁目 1 番地北苑ビル 2 階

NPO 法人 札幌チャレンジド TEL:(011)769-0843

発行人:HSK 北海道障害者団体定期刊行物協会

定価:30 円(年会費に含まれる)

夏号

2023年度決算・事業報告

みなさまのお陰を持ちまして 2023 年度も無事、活動を進めることができました。ありがとうございます。

札幌チャレンジドは、2022 年度にコロナの影響によって初めて大幅な赤字決算となり、累積収支が赤字となりました。2023 年度は、大幅に回復できたもののまだ 100 万円弱の赤字決算となりました。

収支の状況は厳しさが続いています。事業内容を見ますと以下のように新たな取り組みが着実に成果を生み出しています。

- ① 日本財団の助成による「コミュニケーションが苦手な学生支援事業」を札幌市内の4つの大学と連携して実施し、28 名の学生の個別サポートを実施しました。本事業の必要性と成果の手応えを感じています。今年度も継続して実施します。
- ② 放課後等デイサービスの「キャリアデザインコース」が一年を経過し、口コミでの拡がりも生まれ 2024 年 3 月 4 月に 12 名が新規に利用開始しました。パソコン教室の中の様子は、コロナ前の活況が戻ってきました。

また、2024 年度から「札幌市障がい者DXリスクリング事業」を受託し、7 月から講座が始まります。さらに、新しいタイプの就労継続支援B型事業所の開設の検討も着実に進めています。

厳しい状況だからこそ、新たな社会課題に取り組むことで、札幌チャレンジドの価値を高めていくことが必要だと考えています。

札幌チャレンジドは、2000 年に設立し、今年は 25 年目となります。振り返って見ると札幌チャレンジドの歴史は、「挑戦」の歴史でした。団体理念である「自立をめざす障がいのある人が、ITでマザル、ハタラク、拓き合う社会を創る」のために、様々な挑戦を行ってきました。

次の 25 年も持続可能な団体として活動していけるように職員、ボランティアさん、メンバー、みなで力を合わせて社会課題解決への「挑戦」を続けていきますので、引き続き、ご協力いただけますよう、よろしくお願いいたします。

2024年7月

NPO法人札幌チャレンジド 理事長 加納 尚明

2023年度 活動計算書
2023年4月1日から2024年3月31日まで

特定非営利活動法人札幌チャレンジ
(単位:円)

科目	特定非営利活動にかかる事業	その他の事業	合計
I 経常収支			
1. 受取会費			
受取会費		12,000	12,000
2. 受取寄附金			
受取寄附金		330,692	330,692
3. 受取助成金等			
受取民間助成金		10,337,215	10,337,215
4. 事業収益			
(1) 就労継続支援サービス事業			
就労収入	32,118,848		
給付金収入	69,042,899	101,161,747	101,161,747
(2) 就労移行・定着支援サービス事業			
給付金収入	23,893,029	23,893,029	23,893,029
(3) 放課後等デイサービス事業			
給付金収入	12,118,572		
利用料収入	760,082	12,878,654	12,878,654
(4) 本部事業			
本部事業収入	1,278,047	1,278,047	1,278,047
5. その他収益			
受取利息		76	76
経常収益計		149,891,460	149,891,460
II 経常費用			
1. 事業費			
(1) 就労継続支援サービス事業			
人件費(給料、法定福利費他)	35,975,679		
利用者賃金	25,893,390		
利用者工賃	5,118,649		
利用者交通費	266,200		
業務交通費	1,942,086		
家賃、光熱費	7,507,414		
リース料	2,512,589		
その他経費	5,968,204	85,184,211	85,184,211
(2) 就労移行・定着支援サービス事業			
人件費(給料、法定福利費他)	18,586,077		
利用者工賃	0		
家賃、光熱費	3,464,960		
業務交通費	896,347		
リース料	1,159,656		
その他経費	4,142,889	28,249,929	28,249,929
(3) 放課後等デイサービス事業			
人件費(給料、法定福利費他)	17,754,891		
外部講師謝金	4,496,480		
家賃、光熱費	346,495		
その他経費	689,969	23,287,835	23,287,835
(4) 本部事業			
日常生活用具仕入	379,940		
訪問交通費	13,900		
家賃	1,100,000		
謝金	494,000		
その他経費	7,430,821	9,418,661	9,418,661
事業費計		146,140,636	146,140,636
2. 管理費			
家賃、光熱費	230,999		
養成費	727,335		
業務委託費	928,950		
租税公課	1,365,770		
支払利息	351,292		
リース料	77,313		
その他経費	1,012,189	4,693,848	4,693,848
管理費計		4,693,848	4,693,848
経常費用計			150,834,484
当期正味財産増減額			-943,024
前期繰越正味財産額			-6,500,952
次期繰越正味財産額			-7,443,976

2024年 春夏号

さっチャレだより

札幌チャレンジド 放課後等デイサービス



2024年度 始まりました

新年度が始まって少し経ちましたね。新しい環境になった方も多いかと思います。

札幌チャレンジドではこの春に新しく生徒さんがたくさん来てくれました。出会いがたくさんあり嬉しいです。今年度も皆さんと楽しく過ごせたらと思います。

説明会開催報告

4/20(土)にキャリアデザインコースの保護者説明会を開催しました。新年度のお忙しい中、22名の方にお越しいただきました。ありがとうございます。

全体の説明の他、検定、CST、SST、各担当の講師からの説明をいたしました。

春休み工作 フラバン

春休み期間に、フラバン工作を行いました。Wordにみなさんそれぞれ好きな画像を貼り付けてデザイン。フラバン用紙に印刷しトースターで焼きます。個性あふれる作品がたくさんできました。

(※生徒さんの希望や学習内容により、実施しないこともあります。)



生徒さん、保護者の方
みなさん真剣に聞いて
くださいました。



札幌チャレンジド
理事長のご挨拶



今後の予定

- ・6/17(月)16:30~17:30
パソコン検定の模擬検定試験を実施します。受験希望の方は職員までお知らせください。
- ・7/7(日) パソコン検定本試験日
- ・7月~ 2024年のキャリアデザインコース SST.CST講習開始

札幌市障がい者DXリスティング講座のご案内

札幌市が企業にお勤めの障がいのある方を対象に、パソコンのリスティング講座を実施します。

「Excel・PowerPoint」「プログラミング」「Web」「デザイン」の4つの分野の講習があります。普段、パソコン(主に、ワードやエクセル)を使って仕事をしている方が、プログラミングやホームページ作成、デザインのスキルを新たに身に付けるための講習です。

「Excel・PowerPoint」の講習は、基本的な使い方ができる方が仕事に役立つ応用的なスキルを学びます。

「デザイン」の講習は、Photoshop や Illustrator の初心者向けの内容です。

全ての講習は、パソコンを使ったことが無い初心者の方は対象外となります。

参加費無料ですので、ぜひ企業研修としてご活用ください。

詳細は、ホームページをご覧ください。

<https://dx-sapporo.com/>

《 お問い合わせ(事務局) NPO法人札幌チャレンジド 》

TEL 011-769-0843 FAX 011-769-0842 メール dx-sapporo@s-challenged.net

札幌市障がい者DXリスティング講座

受講者募集中!



2024年7月から順次開講!

企業等にお勤めの障がいのある方を対象に
新たなパソコンスキルを学んでいただく講座です
4つの講座から自由にご参加ください
受講料無料! 研修にご活用ください



Excel・PowerPoint (全6回)
7/1~22 月・水クラス&火・木クラス



プログラミング (全8回)
7/23~8/26 月・水クラス&火・木クラス



Web (全8回)
8/27~9/30 月・水クラス&火・木クラス



デザイン (全10回)
9/24~11/11 月・水クラス&火・木クラス

各講座の内容・実施期間・申込方法などの詳細は裏面をご覧ください
主催：札幌市 実施団体：NPO法人札幌チャレンジド

Excel・PowerPoint (全6回)	プログラミング (全8回)
<p>概要 事務系の基本ソフトウェアのMicrosoft OfficeのExcel/PowerPointについて、業務に役立つ使い方を習得します。Excel/PowerPointの基本的な操作が可能な人が対象となります。パソコンを使ったことが無い初心者の方は対象外となります。</p> <p>月・水クラス 7月1日、3日、8日、10日、17日、22日</p> <p>火・木クラス 7月2日、4日、9日、11日、16日、18日</p> <p>時間帯 全て10時~12時30分</p> <p>内容 エクセルとパワーポイントの応用的な内容です</p>	<p>概要 事務職としても業務効率化のためにスキルを上げたいExcel/VBAによるマクロ作成/プログラミングスキルを習得します。パソコンを使ったことが無い初心者の方は対象外となります。</p> <p>月・水クラス 7月24日、29日、31日、8月5日、7日、19日、21日、26日</p> <p>火・木クラス 7月23日、25日、30日、8月1日、6日、8日、20日、22日</p> <p>時間帯 全て10時~12時30分</p> <p>内容 VBAとは、VBEとは、コーディングとは、デバッグとは、オブジェクトについて、基本課題</p>
Web (全8回)	デザイン (全10回)
<p>概要 Webエンジニアとして最低限必要となるプログラミング言語 (HTML/CSS) を習得し、ホームページ制作を習得します。パソコンを使ったことが無い初心者の方は対象外となります。</p> <p>月・水クラス 8月28日、9月2日、4日、9日、11日、18日、25日、30日</p> <p>火・木クラス 8月27日、29日、9月3日、5日、10日、12日、17日、19日</p> <p>時間帯 全て10時~12時30分</p> <p>内容 HTML基本、CSS基本、基本課題</p>	<p>概要 デザイナーが使用するAdobeソフトウェア (Photoshop/Illustrator) の基本操作を学び、チラシ/デザイン/ユーザー作成などが行えるスキルを習得します。パソコンを使ったことが無い初心者の方は対象外となります。</p> <p>月・水クラス 10月2日、7日、16日、21日、23日、28日、30日、11月6日、11日</p> <p>火・木クラス 9月24日、26日、10月1日、3日、8日、10日、15日、17日、22日、24日</p> <p>時間帯 全て10時~12時30分</p> <p>内容 デザインの考え方、DTPとWebの違い、Photoshop・Illustratorの基礎、基本課題 (UI切り、ロゴ・パターン制作)</p>

5月7日(火)から先着順で申込受付開始! 詳細はホームページへ

受講したい内容・クラスを選んで申込み **受講料無料**

【講習会場】 札幌市北区北7条西6丁目1 北苑ビル1階 NPO法人札幌チャレンジド 研修室
JR札幌駅北口から徒歩約5分 駐車場はありません。近隣の有料駐車場を利用ください。

【お申込み・詳細】 <https://dx-sapporo.com/>
申込受付: 全てのコース 5月7日(火)から先着順で受け付けます。
受講したい内容とクラス (月・水クラスor火・木クラス) を選んでお申込みください。
各講習の定員は10名です。クラス毎に1社3名までお申込み可能です。
全ての講習は、パソコンを使ったことが無い初心者の方は対象外となります。

<お問い合わせ先>NPO法人札幌チャレンジド
TEL 011-769-0843 FAX 011-769-0842 メール dx-sapporo@s-challenged.net

2024 年度 パソコン・タブレット講習受講者募集

今月は 2024 年 9 月、10 月、11 月の受講者を募集いたします！

障がいのある方を対象としたパソコン&タブレット講習会のご案内

この「パソコン講習」は、障がいがある方を対象として①パソコン、あるいは②タブレット(アイパッド、アンドロイド)が学べます。例年、団体クラスと個別対応クラスを併設しておりましたが、今年度も昨年同様新型コロナウイルスの状況への対応を踏まえ、社会的距離を確保するために、講師と受講者の一対一での講習の個別対応クラスのみ用意しています。

1 対象者

札幌市内にお住まいの、障がいがある方。年齢は問いません。
講習内容で扱う、パソコン、タブレット(アンドロイド、アイパッド)に初めて触れる方をはじめ、入門者、初心者が対象です。

2 講習内容(この中から 1 科目選択ください)

聴覚に障がいのある方には筆談のサポート、あるいは手話通訳が対応し、受講いただけます。

①パソコン入門

- (1)パソコンの基本操作(電源の入れかたからマウスの操作など)
 - (2)文書の作成(文字の入力、文章の作成、ファイルの保存、ハガキの作成など)
- 使用するソフト:ワード
(※視覚に障がいのある方の使用ソフト:マイエディット)

②アイパッド(iPad)基本

電源の入れ方から始まり、基本的な機能と操作の入門です。
視覚に障がいのある方には、画面の拡大機能、音声機能(ボイスオーバー、シリ)が活用できます。

③アイパッド(iPad)アプリ

入門コースのおさらいから始まり、扱うアプリ(ソフト)の数が多くなります。

④タブレットとスマートスピーカーでIoT 入門

タブレット(アンドロイド)の操作とスマートスピーカーの利用方法を学習し、情報アクセスツール活用のスキルの習得を目指します。

3 受講時間

1人あたり 10 時間(週に1回 2 時間 30 分を、4週間に渡って受講します)

4 募集定員等

2024 年 9 月、10 月、11 月の3か月について募集します(詳しくは「10 講習日程」をご覧ください)。ただし、上肢などに障がいのある方についてはその状況により、こちらで用意している自具等に適合するかなど、事前に機器の下見が必要となる場合があります。電話・FAX で下見についてご確認の上、お申し込みください。

※案内及び申込書は、各区役所保健福祉課、各区民センターなどに設置されています。
(10 月 11 月の案内の設置は 8 月以降になります。)

5 講習会場

札幌市北区北 7 条西 6 丁目 1 番地 北苑ビル 2 階(札幌チャレンジド内)

札幌市障がい者ICTサポートセンター 講習会場

[最寄駅]

JR 札幌駅・地下鉄南北線さっぽろ駅・地下鉄東豊線さっぽろ駅

[所要時間]JR 札幌駅西コンコース北口から徒歩 5 分

6 受講料

受講料(2,000円)



7 申込方法等

区役所等に設置されている案内書の申込み用紙に必要事項をご記入のうえ、期日までに郵送またはファックスでお申し込みください。

また、電話にても承っております。必要事項はその際に確認させていただきます。

(締め切り)

- ① 2024年9月講習会:2024年7月31日(月)必着
- ② 2024年10月講習会:2024年8月30日(金)必着
- ③ 2023年11月講習会:2023年9月30日(月)必着

(申込み記載事項)

(1)氏名(ふりがな) (2)年齢 (3)性別 (4)住所(5)電話番号 (6)障がいの種別及び状況

(7)①受講希望月と曜日②希望する講習(例)①2024年9月 火曜②パソコン入門

(8)パソコン、タブレット(iPad、アンドロイド)の操作歴

※パソコン講習希望の視覚障がい又は盲ろうの方は、次の(9)、(10)についてもお知らせください。

(9)「音声読み上げソフト」または「画面拡大機能」のどちらを使用するか

(10)講習で使用する機器の文字の入力方法は「6点入力」と「フルキー入力」のどちらで行うかの選択

8 申し込み及び問い合わせ先

郵便番号 060-0807

札幌市北区北7条西6丁目1番地 北苑ビル2階 (札幌チャレンジド内)

札幌市障がい者 ICT サポートセンター 電話 011-769-0841 ファックス 011-769-0842

[電話受付:月曜～金曜(祝日除く) 午前10時～午後4時]

9 受講の決定

応募者が多数で定員を超えた場合は、抽選で受講者を決定します。

希望する受講日と内容によっては、日程調整の相談をさせていただくことがあります。

詳細は、応募後に当センターからお送りする「受講決定通知」でご確認ください。

また、円滑な講習実施のため、事前に障がい状況等について確認の連絡をする場合がありますのでご了承願います。

10 講習日程

■2024年9月実施分(2024年7月31日までに申し込み)

曜日	実施日	時間帯	定員
火曜	3日、10日、17日、24日	午前10時00分～ 午後0時30分	2名/1日
木曜	5日、12日、19日、26日		
金曜	6日、13日、20日、27日		

■2024年10月実施分(2024年8月30日までに申し込み)

曜日	実施日	時間帯	定員
水曜	9日、16日、23日、30日	午前10時00分～ 午後0時30分	2名/1日
木曜	10日、17日、24日、31日		
金曜	4日、11日、18日、25日		

■2024年11月実施分(2024年9月30日までに申し込み)

曜日	実施日	時間帯	定員
火曜	5日、12日、19日、26日	午前10時00分～ 午後0時30分	2名/1日
水曜	6日、13日、20日、27日		
金曜	8日、15日、22日、29日		

就労 G の取り組み紹介

ビジネスチャットのマナーについての紹介



よろしく
おねがい
します！

就労グループでは、社内コミュニケーション円滑化のためビジネスチャットを導入しています。前例が少ない中での挑戦でしたが、新型コロナウイルス感染予防によるテレワーク推進も相まってビジネスチャットは浸透、利用時のマナーも変化しています。例えば私的なコミュニケーション手段として定着している絵文字が、現代のビジネスチャットでは多くの企業で利用されています。そこで就労グループでは先日、Microsoft Forms を使ってメンバーにビジネスチャット内での絵文字の使用についてアンケートを行いました。業務で心がけている(ほしい)ビジネスチャットを使用する際の基本マナーとして、以下 5 つを挙げます。

挨拶

感謝

① 「ビジネスの場にあった言葉遣い」をする

就労継続支援 A 型は、障がいや難病を持つ方が福祉サポートを受けつつ働くことができるサービスです。つまり障がい福祉サービスの場であり、ビジネスの場でもあります。

メールでは言葉遣いが丁寧だった方が、チャットでは気軽な文章になってしまう場合があります。正しく敬語が使われているか、誤字脱字がないか、適切な言葉遣いかを送信前に一通り確認する癖をつけるとよいでしょう。

伝えたいことを丁寧な言葉でわかりやすく記述するように意識しましょう。



② 「早めの返信」を大切に

メッセージが来たら早めに返信するように心がけましょう。ただ、内容が複雑な場合、障がい特性や仕事で手が離せない場合は、「リアクション」スタンプで読んだと簡易的に伝えることが、円滑なコミュニケーションに繋がります。スタンプはどう思ったかを端的に示す使い方もできます。

また、いつまでに正式な返事をするか伝えるのも大切です。

即レスばかりに集中し、結果的に仕事が進まなくなる方も見受けられます。「30 分ごとにチェックする」「〇〇の作業中は返信しない」など、マイルールを決めておくとよいでしょう。



③ 「結論を簡潔に」まとめましょう

ビジネスチャットは挨拶文が不要で、速やかなコミュニケーションが可能です。より効率的に連絡を取りたい場合は、結論を簡潔にまとめ冒頭で伝えましょう。詳細や理由は後述する形だと、内容を理解しやすくなります。「メールの件名を最初に書く」イメージで最初に伝えるようにしましょう。結論を簡潔にまとめておくと、後から検索しやすいという利点もあります。



④ グループチャットでは「誰につたえたいか」を明確にする

メンション機能を活用し、相手の名前をメッセージの冒頭に置きましょう。伝えたい相手が当事者として受け取らない可能性があります。逆に、対象でない人がメッセージに時間を割きすぎると、時間のロスにつながります。的確に伝えるため、グループチャット使用の際は相手に伝わるようにしましょう。



⑤ 「絵文字の使い方」は慎重に

就労グループでは多様な障がい特性のある方が働いています。相手は絵文字の意味の理解が難しい方かもしれません。文章だけのほうが伝わることも多い一方、互いに意味を理解できれば、柔軟な気持ちになれる場合もあります。互いの価値観を大事にしつつ絵文字を活用するため、上記のアンケート結果より、以下の改善策をつくりました。

- ・絵文字の種類をあらかじめリストアップ（誤認などを防ぐため）
- ・絵文字を使う・使わないは本人の自由（相手に合わせなくてOK）
- ・絵文字を使う際はシーン・用途を制限する（お礼、情報の強調、確認など）

マナーを守ったビジネスチャットの活用は、相手の負担の減少やコミュニケーションの円滑化、生産性の向上に繋がります。ビジネスチャットが原因でストレスがたまるような本末転倒にならないことが大事です。

就労グループは、年齢や経験を問わず誰もが気持ちよく働けるよう工夫をし、ビジネスチャットにおけるコミュニケーションを大事に育てています。



「在宅訓練プログラムの紹介」

就労移行支援グループ スタッフ

渡辺 静流(わたなべ しずる)

札幌チャレンジの就労移行支援グループでは、コロナウイルス感染対策のため 2020 年 4 月より在宅訓練を実施してきました。現在はコロナウイルスも収束に向かっておりますが、在宅勤務を取り入れている一般企業は増えております。そのため、感染対策に加え、様々な雇用形態に対応できるよう、週に一回程度、在宅訓練を継続して行っております。

今回は、在宅訓練のプログラムをいくつかご紹介したいと思います。

○調べ学習

あるテーマをもとに各自で調べ、調べた内容を作文にしたり PowerPoint にまとめたりして、通所日に発表会を行います。最近では自分の住んでいる街の PR ポイントをまとめたり、興味のある国について調べたりしました。情報収集力や文章力などを身につけます。



○家事

社会生活を送るうえで生活スキルを身につけておくことは大切です。掃除、洗濯、料理など、この機会にトライしていただいています。



○英単語ドリル

基本的な英単語を日本語に訳す課題です。わからない単語は調べて記入します。基本的な英語のスキルを身につけたり、調べる力を身につけます。

○漢字練習

様々な漢字の読みや書きを学びます。英単語ドリルと同様、分からない漢字は調べて記入するので、調べる力が身につくとともに、語彙力が増えます。

などなど、他にもいくつかのプログラムを用意しています。

今後もこの在宅訓練の時間がメンバーの皆さんにとって有益な時間となるよう、スタッフも頑張っていきたいと思っています。

「メンバーさんにインタビュー！」

就労移行支援グループ スタッフ
金澤美希(かなざわ みき)

今回は、2024年3月から移行支援のメンバーになった、ペンネーム:スクエアリードさんにインタビューをしたいと思います。



Q. 自己紹介をお願いします。

2024年3月から就労移行に通っている、スクエアリードです。

趣味は、DTM(パソコンでの音楽制作)、クイズ、音楽ゲーム、テレビ番組&ラジオ番組鑑賞です。プライベートでは、音楽サークルに所属しているほか、札幌市内の施設でのイベントの企画や、ラジオ(コミュニティFM)にたまに出演もしています。

Q. 好きな講習はなんですか？(在宅訓練含む)

自分は物事を調べたり、PowerPointを使うのが好きなので、発表系のプログラムが好きです。

また、最近では「一般常識クイズ」のプログラムで、自分でクイズを作成し、出題側に回ることがあります。クイズが好きなので、とても楽しいと感じています。「ストレッチ&ウォーキング」も、メンバーさんやスタッフさんとお話ししながら運動ができるので、好きです。

在宅訓練は、自分のペースで作業を進めることができるので、自分には合っていると思っています。

Q. 今、頑張っていることはなんですか？

まだ移行支援に入って3か月ちょっとなので、まだ一日通して通う体力がありません。その中で、時間を調整したり、在宅訓練を入れるなどして、なるべく休まず毎日出席することを頑張っています。自習では、以前から興味があった漢字検定を勉強しています。目標を立てて、それに向けてこれからも頑張ろうと思っています。

Q. 最後に一言お願いします

はじめてここに来た時から、スタッフさんやメンバーさんがとても優しく、その優しさに救われています。

2年という長いようで短い期間で、様々なことを勉強して知って、経験を積みたいと思っています。これからもよろしくお願いします。

会費・寄付の納め方

1. 郵便振替

郵便局においてある振替用紙でお納めいただく
(1,000 円の場合は窓口手数料 203 円、ATM 手数料 152 円)

<振込先>口座番号 02750-5-1346
「特定非営利活動法人 札幌チャレンジド」

2. 銀行振り込み

(北洋銀行から 1,000 円を振り込む場合、手数料 110 円)

<振込先>北洋銀行 札幌西支店 普通 3966083
「特定非営利活動法人 札幌チャレンジド 理事長 加納尚明」

3. 現金書留で送っていただく

4. 札幌チャレンジドの事務所にお持ちいただく

5. 訪問講習を受けている方は、訪問講師にお預けいただく

いつもありがとうございます



昭和 48 年 1 月 13 日第三種郵便物承認

発行日:2024 年 7 月 10 日 HSK 通巻 628 号 Vol.259

編集人:NPO 法人 札幌チャレンジド

発行人:HSK 北海道障害者団体定期刊行物協会

「札幌チャレ通信」

秋号発送予定日

令和 6 年 9 月 27 日 (金)